

人がつながる田園都市



あきたかた

議会だより

今回の題字は、^{おおの}^{ゆうしん}大野佑心さん（美土里小学校6年生）です。



田んぼアート たかたん（7月中旬）

6月定例会 …… 2～ 3 **議会改革** …… 14～18

常任委員会報告 …… 4～ 7 **30年度政務活動費** …… 20

一問一答
11人が**市政を問う**… 8～13 **地域のかがやき** …… 22

第62号

2019(令和元)年8月15日発行



安芸高田市
市議会のページ

可
決

16人へ

(現在 18人)

6月定例会

6月定例会を6月14日～7月1日までの会期で開催しました。

一般会計の補正予算は、予算決算常任委員会へ付託しました。(4ページに掲載)

3常任委員会では、付託された議案審査や所管事務調査を実施しました。(5～7ページに掲載)

本定例会において付議された17議案(議員発議5件含む)について、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問では、11人が市政を問いました。(8～13ページに掲載)

■諮問(1件)

人権擁護委員の推薦

小路 順子 さん
向原町坂

承認

■同意(4件)

公平委員会委員の選任

榎原 秀克 さん
八千代町佐々井

固定資産評価審査委員会委員の選任

小川 博昭 さん
吉田町常友
女鳥 清治 さん
甲田町高田原
木原 張登 さん
向原町有留

同意

■同意(12件)

農業委員会委員の任命

見坂 トシ子 さん
吉田町相合
水重 克幸 さん
吉田町常友
上田 隆司 さん
八千代町佐々井
藤原 憲司 さん
八千代町上根
桑原 博 さん
美土里町北
津田 義則 さん
美土里町本郷
秋國 満 さん
高宮町来女木
田中 秀之 さん
高宮町船木
仁伍 雅史 さん
甲田町高田原
光永 直義 さん
甲田町上甲立
田植 憲司 さん
向原町長田
山本 英次 さん
向原町坂

同意

議員定数条例改正

次回改選時 議員定数 全員賛成



本会議の議決風景

■専決処分した
事件の承認（2件）

■承認第1号

安芸高田市税条例等の一部を改正する条例

承認

■承認第2号

安芸高田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

■質疑

金行 改正による市への影響は。

岩崎市民部長 低所得者に向けて2〜5割の軽減措置を行うことにより約67万円減収となるが保険基盤安定負担金より補填する。

承認

■議員発議（5件）

- 地方財政の充実・強化を求める意見書について
- 天皇陛下御即位を奉祝する賀詞の決議について
- 安芸高田市議会議員定数条例の一部を改正する条例
- 新たな過疎対策法の制定に関する意見書について
- 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書について

全員賛成

■付託議案以外で
可決された主な議案

- 議案第45号
○安芸高田市消防手数料条例の一部を改正する条例
- 議案第46号
○安芸高田市火災予防条例の一部を改正する条例

元年度補正

一般会計 補正予算

7956万2千円増額

(予算総額 213億1556万2千円)

可決

○歳出

単位：千円

区分	金額		内 訳
施設等の修繕他	30,800	3,000	〔商工業振興施設管理運営費〕 八千代フォルテ1階空調設備修繕工事
		27,800	〔体育施設維持管理費〕 高宮B&G海洋センター体育館改修
新規実施による補正	3,794	430	〔生活路線確保対策事業費〕 三江線鉄道資産活用の検討委員会 418 式敷駅乗務員休憩所に係る水道料 12
		2,970	〔保育所総務管理費〕 幼児教育・保育の無償化に係るシステム改修
		394	〔開かれた学校づくり推進事業費〕 コミュニティ・スクール設置運営に関する経費
事業量の増減による補正	44,968	22,000	〔地域活動拠点施設費〕 可愛振興センター増改築工事
		841	〔生活路線確保対策事業費〕 芸備線対策協議会負担金 341 JR利用促進事業 500
		461	〔まち・ひと・しごと創生事業費〕 総合戦略懇話会委員
		2,753	〔定住促進事業費〕 地域おこし協力隊
		600	〔諸費 結婚相談事業費〕 安芸高田市カップリング交流イベント事業(成婚50組成立記念)
		11,313	〔商工業振興事業費〕 プレミアム付商品券発行事業
		7,000	〔企業立地推進事業費〕 サテライトオフィス等誘致事業助成金
合計	79,562	79,562	

主な増額

2780万円



高宮B & G海洋センター体育館改修

2200万円



可愛振興センター増改築 (吉田町)

総務企画常任委員会

6月25日に委員会を開き、付託のあった議案3件、意見書1件を慎重に審査しました。

(主な審査)

○安芸高田市役所支所設置条例の一部を改正する条例

○安芸高田市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

○消費税率の改定に伴う関係条例の整理に関する条例

委員長 穴戸 邦夫
副委員長 新田 和明
委員 石飛 慶久
山本 優
塚本 近
先川 和幸



周辺の整備が必要な建物（八千代支所）

市役所支所設置条例の一部を改正する条例

■概要

八千代支所のフォルテへの移転を踏まえ、設置条例の住所地番の変更を行うもの。

■質疑

石飛 支所の跡地利用について、倉庫として使用するのか、駐車場として使用するのか等の検討について、並行して計画を進めていかなければならないのではないか。

竹本副市長 跡地活用についてもしっかりと議論していかなければならないと思っ

ているが、現時点ではまだそこまで進んでいないので、再度検討していきたい。

塚本 B&Gの前方に支所以外にも建物があるが、それらも含めて総合的に支所周辺の整備も必要だと思っ

ているので、早急に検討していただきたいが。

竹本副市長 すべて

がなくなるわけではなく、中には活用する施設もあるため、

全体的にどのようなようにしていくか、出来るだけ早く検討していきたい。

市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

■概要

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律により改定された選挙長等の報酬に合わせ、選挙関係非常勤特別職の報酬の額を改正するもの。

消費税率の改定に伴う関係条例の整理に関する条例

■概要

消費税法及び地方税法の改正により消費税及び地方消費税の税率が引き上げられることを考慮し、消費税相当額を加算するため、各条例について所要の改正を行うもの。

■質疑

新田 これらの施設に関して、立地条件やその地域の環境等により、10月の消費税変更と同時に施設の料金の見直しをする考えは。

高藤財政課長 料金

については、集会施設等においての統一をしたところであ

る。これらの施設は、設立当時の要件等もあり、同じ条件では難しいとは思いますが、長期間変えていないという状況もあり、早期の見直しについて今後検討が必要。

新たな過疎対策法の制定に関する意見書について

塚本 本市は過疎法の対象ラインぎりぎりにある。過疎法の適用が受けられないと市の存続が危ぶまれるので、議会として意見書の提出が必要と思う。

意見書提出決定

文教厚生常任委員会

6月26日に委員会を開き、議案4件、陳情1件、請願1件を慎重に審査しました。

(主な審査)

○安芸高田市介護保険条例の一部を改正する条例
ほか3件

(審査した陳情)

○教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情
ほか請願1件

委員長 秋田雅朝
副委員長 玉井直子
委員 玉重輝吉
児玉史則
青原敏治
水戸眞悟

介護保険条例の一部を改正する条例

■概要

消費税率の引き上げによる増収分を財源として、所得の少ない方が負担する介護保険料の軽減強化を目的として施行された「介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令の一部を改正する政令」に基づき、条例の一部改正を行うもの。

ひとり親家庭等医療費支給条例及び重度心身障害者医療費支給条例の一部を改正する条例

■概要

広島県福祉医療費公費負担事業費補助金交付要綱の一部改正が行われたことに伴い、震災、風水害、火災、落雷その他の災害により被害を受けた者であって、特別な事情があると市長が認めた者は、所得制限に該当する者であっても医療費支給するよう条例の一部改正を行うもの。

図書館条例の一部を改正する条例 歴史民俗博物館設置及び管理条例の一部を改正する条例

■概要

八千代図書館の八千代フォルテへの移転により、位置がフォルテの住所地番に変更となることに伴い、条例の一部を改正するもの。

協議会委員の委嘱に関して合理化を図るため、通常の見議事項は「社会教育委員の会議」において行い、特別な事由がある場合に限り当該協議会委員を任命し審議を行うことができるよう条例の一部を改正するもの。

陳情

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情

〔陳情者〕 広島県教職員組合山県・安芸高田支区

〔要旨〕 1. 教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

〔審査結果〕 上記の陳情は委員会で採択し、諸手続きを経て関係機関へ意見書を提出することとした。

請願

甲田町高田原下長屋地区に計画中の安芸高田市甲田町高田原産業廃棄物最終処分場建設許可差し止めに関する請願書

〔請願者〕 甲田町高田原下長屋地区産業廃棄物最終処分場建設反対常会代表者連絡協議会

〔審査結果〕 上記の請願は委員会で引き続き継続審査とした。

産業建設常任委員会

6月27日に委員会を開き、議案2件を慎重に審査しました。

(主な審査)

○財産の取得について(田んぼアート公園用地)

○安芸高田市美土里緑の交流空間設置及び管理条例の一部を改正する条例

委員長 熊高昌三
副委員長 芦田宏治
委員 山根温子
前重昌敬
大下正幸
金行哲昭

概要

田んぼアート公園整備事業に向けて公園用地を取得するにあたり、地方自治法第96条第1項第8号及び市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求めるもの。

田んぼアート公園用地取得

取得面積 6,841 m²
取得価格 34,683,870 円

質疑

金行 土地の価格はこういった基準で決められているのか。
佐々木商工観光課特命担当課長 不動産鑑定士が計画地内に標準価格を算定し、それぞれの土地の規模や形による評価を行い、価格を決めている。最終的な取得価格は、市公有財産処分等委員会に諮って決めている。



位置図

概要

昨年度、サテライトオフィス誘致の促進を目的に整備された「美土里緑の交流空間」が、今後、企業等によるお試しオフィスとしての利用が多くなることが見込まれることから、利用料金等所要の改正を行うもの。

市美土里緑の交流空間設置及び管理条例の一部を改正する条例

質疑

山根 改正の趣旨はサテライトオフィスの誘致が目的であるが、子どもたちなど体験型の利用の希望があった場合はどのようになるのか。

松野商工観光課長

設置管理条例の目的にあるように、利用を制限するものではない。サテライトオフィスのお試しオフィスとして改装をしているので、大阪や東京での企業誘致に係るマッチングイベント等で、本市に関心を持つ企業等へ推奨したい。

山根 利用人数は何人程度か。

松野商工観光課長

コテージ、宿泊棟及び研修棟は最大10名を想定して備品等を置いている。

山根 宿泊に必要な備品等の利用を含め

て使用料は設定されているのか。部屋代だけの設定か。

松野商工観光課長

年間のランニングコストを試算で180万円程度見込んでおり、その中から利用形態を想定し料金設定をしている。受益者負担が原則であるが、市外からの企業を加味した設定をしており備品等の利用も含んでいる。



整備された「緑の交流空間」

11人が 市政を問う

一問一答

一般質問は発言者本人が文章を作成しています。

インターネット議会中継
一般質問・本会議をみてください!

〔視聴方法〕

市ホームページ → 安芸高田市議会 → 議会中継

<https://www.akitakata.jp/ja/parliament/>

インターネット回線の状況やYouTube社側のメンテナンス、その他ご利用のパソコン環境などにより、正常に視聴できない場合がありますので、ご了承ください。

新田 人材確保のために、海外で介護人材の育成を行っては。
市長 どのような仕組みがあるか勉強し、時間はかかるが挑戦していきたい。
新田 介護施設に監視カメラ設置の考え



新田 和明
(無所属)

介護人材

**人材確保を官民一体
となって行っては**

市長/協議会を立ち上げ、人材確保の支援策を協議し取り組む

新田 市内公共交通の見直しの考えは。
市長 市民の利便性を考え、総合的な見直しを約束したい。
新田 観光面で、タクシーを活用する考

**公共交通の
今後について**

は。
市長 本市も協力し前向きに設置するよう指導する。

新田 オーナーシエフを誘致しては。
市長 資源活用可能なオーナーシエフ募集を検討する。

**観光面からの
企業誘致について**

えは。
市長 観光ニーズを踏まえ、タクシー業者と連携し調査検討していく。



笑顔でデイサービス対応の介護職員（高美園）

穴戸 小規模農家（家族農業・兼業農家など）の存在を積極的に活かしたまちづくりを進めることで、自然環境や地域コミュニティ、そして農村文化が守れるのではないかと。



穴戸 邦夫
(無所属)

小規模農家

存在を活かしたまちづくりは

市長／農業人材の確保を図っていききたい

穴戸 市の総合戦略

まち・ひと・しごと創生総合戦略

市長 農業者の減少は地域コミュニティ、農村文化に与える影響は大きいと考えている。担い手農家と小規模農家が連携した農業、農村づくりを行い、地域で農業にかかわる人材の確保を図っていききたい。



守ろう 田園風景

市長 平成31年度が最終年にあたるが、次の総合戦略策定をされるのか。
市長 国も令和2年度から6年度までの5年間の第2期の総合戦略の策定に向けて動いている。本市においても、国の動向を注視しながら今年度中に第2期総合戦略の策定を進めていきたい。

熊高 平成30年度末で人口の社会増が9名となったが実情は、市長 転入者965人、転出者956人で9人の社会増。
熊高 これまでも具体的取り組みを提案してきたが、要因は、市長 総合的な人口減対策の結果で、子育て支援の充実、学校教育の充実、多文化共生の推進、婚活住宅、空き家バンクの活用等の取り組みを行った結果。

人口減対策

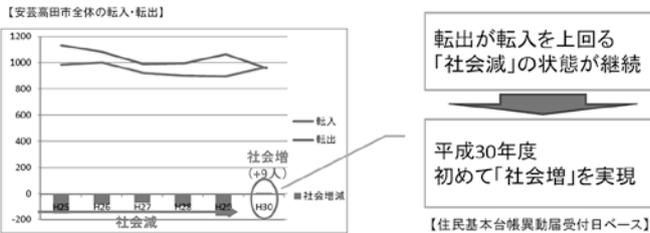
人口が社会増と
なった要因は
市長／総合的な人口減
対策の効果



熊高 昌三
(無所属)

熊高 社会増を継続するためには詳細な分析が必要では。市長 詳細な分析はこれからだが、効果

安芸高田市の人口の社会増減



	H25	H26	H27	H28	H29	H30
転入	984人	1,000人	921人	901人	856人	965人
転出	1,133人	1,081人	989人	995人	1,064人	956人
社会増減	△149人	△81人	△68人	△94人	△168人	+9人

【取組の3本柱】
・子育て支援の充実
・学校教育の充実
・地域での仕事づくり

これまでに実施してきた人口増に向けた取組が、効果を上げ始めた

人口の社会増減の経過

○産婦人科医院の閉院に伴う対策を含めた今後の医療体制の充実強化について
○議会と市長の二元代表制の市長の認識について
○その他の質問
のある所に集中して力を注ぐ。

可愛地区の拠点整備

生活インフラ環境整備が必要

市長／整備計画に加味し、定住促進へ展開



石飛 慶久
(無所属)

石飛 歩けるまちづくり生活インフラ環境整備が必要では。
市長 都市機能の基
本計画はないが、後

期基本計画の整備計画に加味し、定住促進の施策に展開出来ればと考える。
石飛 ホテル・旅館誘致等促進事業補助金の策定の考えはあるのかを伺う。
市長 事例を参考にし、補助制度の導入について検討もしていきたい。

石飛 総合計画のタウンセンター構想の位置づけは。
市長 可愛地区をタウンセンター構想拠点とはしていない。
石飛 第二次総合計画の後期策定段階の将来的展望と立地適正化計画の導入は。
市長 道の駅・田んぼアート公園整備により、集客・交流施設が整備され、活性化や賑わいづくりに期待している。立地適正化計画はない。

区分	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
基本構想	基本構想 平成27(2015)年度～令和6(2024)年度									
基本計画	前期基本計画 平成27(2015)年度～令和1(2019)年度					後期基本計画 令和2(2020)年度～令和6(2024)年度				

即応した後期基本計画に期待

安全

通学路安全確保で

教育長／関係機関と協議する



金行 哲昭
(無所属)

金行 通学路合同点検実施と点検後の処理は。また県道37号線で川沿いのカーブが凍結し危険であり、ガードレールの設置はできないか。
教育長 27カ所点検し、9カ所対策が完



冬に凍結する通学路 (甲田町高田原)

了。早期に対策が完了するよう努める。県道37号線は車歩道境界ブロックがあるがガードレールは広島県と協議する。
平成合併を振り返り
金行 平成の大合併があり、行政運営を踏まえた平成合併を振り返り、その受け止めは。
市長 平成16年3月6町の合併があり、

それぞれの地域の個性を生かした新市の均衡ある発展と住民の福祉を考え、新市建設計画をもとに取り組みをしてきた。市政を取り巻く環境は大きく変化したが、人口減対策を最重要課題として考えている。
○第5世代移動通信(5G)について
(その他の質問)

山根 平成21年には男女共同参画推進条例を施行し、また男女共同参画都市を宣言した。条例制定から10年、第1次と第2次の男女共同参画プランの推進状況は。



山根 温子
(無所属)

男女共同参画

男女共同参画の推進の状況は

市長／女性の参画の増加等、一定の成果があったと評価

県内近隣及び人口類似市の管理職（課長相当職以上）に占める女性の割合の経年的変化 (%)

近隣・類似市	平成21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
江田島市	4.3	5.2	7.7	6.4	6.4	14.8	21.2	15.5	16.7	25.5
三次市	12.9	13.7	12.7	11.1	14.9	19.2	21.9	22.7	23.9	24.7
大竹市	13.5	14.3	14.8	17.3	15.7	14	16.3	21.4	20.4	23.4
竹原市	3.1	3.2	6.7	7.4	4	3.7	11.5	10.7	12.9	16.1
庄原市	10	12.5	12.3	12.7	11.7	13.1	11.7	12.3	14	12.3
安芸高田市	6.8	6.8	3.6	3.6	1.8	2.1	3.8	5.9	5.3	6.7
県内14市計	10.5	10.8	11.6	12.1	11.8	12.3	13.2	12.8	13.8	14.6

(広島県の男女共同参画に関する年次報告より作成)

職員の定員管理と人材育成

市長 幅広い職員が能力を十分に発揮し

市長 地域内で男性優遇の意識が依然高どまりしているが、学校教育の場では改善傾向。審議会への参画も増え一定の成果があったと評価。

市長 幅広い職員が能力を十分に発揮し

市長 高い意識を持つて勤務できるような働き方に見直すため。
山根 能力を発揮できる人材育成は。
副市長 今年度から人事評価を適正に運用する中で、人材育成に努める方針。
山根 第4次計画における新規採用は。
市長 一般行政事務職は定年退職・再任用任期満了退職・勸奨退職者の2〜3割。

観光振興

可愛地区の市道等安全対策整備が必要
市長／実態を確認し対応していく



玉重 輝吉
(無所属)

の対策要望も出てきている。公の市の観光施設になるので、実態をよく確認しながら検討し、最重点事業として位置づけて対応していく。

玉重 中世屋台村12店舗の募集状況は。
市長 一般社団法人元就新城下とともにテナント出店基準を定め、民間より募集を行うこととしている。出店者、出店内容及び規模等検討し責任を持って対応してもらおう。

田んぼアート公園事業

玉重 現在、可愛地区において、道の駅、田んぼアート公園事業を行い、約53万人の観光客増を計画されている。周辺の市道等、通学路を含め安全対策、整備が必要では。
市長 今後、道の駅の開業、田んぼアート公園事業等で交通量が増加することは明らかであり、現在整備している箇所以外でも、地元からも危険箇所や危険路線



市道・法面の早急な整備を（一本木・川本線 通学路）

ごみの減量化

ごみの減量化の取り組み状況は

市長／集団回収・リサイクル活動の支援を行っている



芦田 宏治
(無所属)

芦田 ごみの減量化に向けた取り組みの現状と課題を伺う。

市長 集団回収・リサイクル活動の定着に向けた支援のため、今後も減量化対策助成金制度を継続する。課題は、資源回収をお願いしている行政区単位や、地域振興会の高齢化による組織力の低下である。

芦田 芸北広域きれいセンターは築24年になる。今後の施設整備の方向性について伺う。

市長 芸北広域環境施設組合で、新たな施設への更新、現施設での大規模改修、直営または民間委託を含めた委託処理の

市長 芸北広域環境施設組合で、新たな施設への更新、現施設での大規模改修、直営または民間委託を含めた委託処理の

3つの方法の検討が進められている。
芦田 ごみ処理や資源ごみのリサイクルを民間に委託する考えはないか。

市長 行政と地域、民間業者が連携した取り組みにより、ごみのリサイクル、資源化に向け成果を上げています。自治体もある。成果の要因を調査し民間に委託することも含め検討する。



築24年の芸北広域きれいセンター

サッカー公園人工芝コート

の改修は

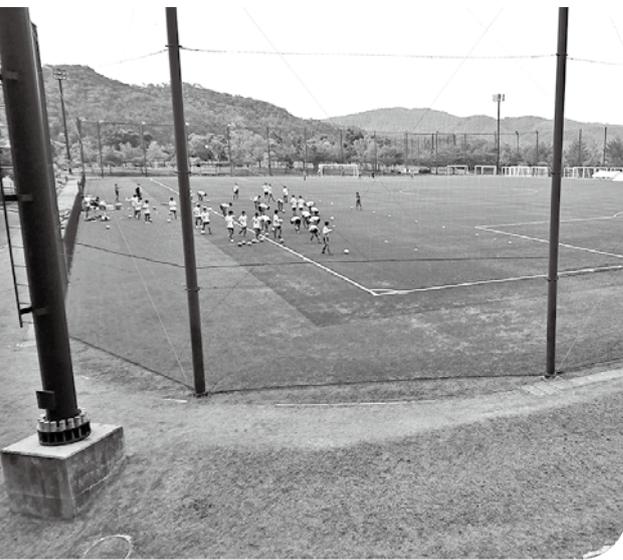
教育長／改修について取り組みを進めていきたい



前重 昌敬
(無所属)

前重 サンフレッチェ広島を生かしたまちづくりにおける観光振興の面から見た現状は。

市長 県内自治体で唯一スポンサーードゲームを開催し毎年1500人の市民に



早目の改修が待たれる吉田サッカー公園人工芝コート

援団をスタジアムに送り込んでいる。1月には吉田町清神社での必勝祈願、市とサンフレッチェ広島とのコラボによるオリジナル商品等の開発、市観光大使に森崎アンバサダーに就任いただいている。

前重 ハード、ソフトの面から見た課題は。

教育長 同公園施設の老朽化が大きな課題である。
前重 これまでの課題における対応は。

市長 吉田サッカー
教育長 ユース等が利用する人工芝コートの改修については、何としても取り組みを進めていきたい。

秋田 人生100年時代を見据えた社会の実現には、健康寿命の延伸を活かし高齢社会像を変える観点から、検討が必要では。



秋田 雅朝 (無所属)

人生100年時代

健康寿命の延伸の取り組みを

市長／健康あきたかた21計画で事業展開

秋田 広報の市長コラムで、環境活動施策の幅を広げる取り

地域循環共生圏の実現を

クラブ等で運動教室、心身の虚弱状態を示すフレイル予防等に取り組んでいる。今後も本市の実情に合った健康づくり事業や介護予防事業を実施していく。



「いきいき百歳体操」で、かけ声に合わせて体操中

組により、より良い地域づくりの検討が必要とされているが、具体的な見解は。市長 中山間地域の特性を生かし、低炭素型循環システムを構築してビジネスを創出することで地域の活性化が可能と考える。地域循環共生圏の実現に向けた取り組みは、本市の早急な課題として事業展開を検討する。

有害鳥獣対策

防護柵設置補助金は

市長／再度検討していききたい



青原 敏治 (無所属)

青原 防護柵の補助金をもとに戻すことはできないか。市長 1戸からでも申請できる制度へ改正した。農家の減少や担い手への農地の集積が進んだ中で、現行の制度ではまずいと判断した。だからこういう制度にしたわけである。ただ、制度を設ける以上はどこかに基準を設ける必要がある、全部というわけにはいかない、その基準

に不満があれば、再度、農家の減少や担い手への農地の集積



有害鳥獣対策用防護柵 (吉田町上入江)

にどのような障害があるかを担当に検討させたいと思う。制度を変えたいとは答弁できないが、このことについては、再度検討していききたいと思う。

市議会に関するアンケート調査結果

安芸高田市議会では、平成30年6月に議会改革特別委員会を設置し、議員定数について調査研究を行いました。

議員定数をはじめ、議会に関する意見・感想について、市民の皆様にはアンケートを実施した結果、496人（回答率49.6%）の方から回答をいただきました。

アンケート調査の概要

- 調査対象者 : 18歳以上の安芸高田市民 1,000人
- 対象者の選定 : 無作為抽出（地域別、世代別）
- 調査方法 : 郵送配布（回収）による無記名アンケート
- 調査期間 : 平成30年12月4日から12月26日

集計結果の見方

この調査結果については、各質問に対する回答を単純集計しております。百分比は回答者数を100%として算出し、本文及び図表の数字は、小数点以下第1位を四捨五入しています。

問1 性別はどちらですか？

男性：45% 女性：54% 記入なし：1%

問2 年齢を教えてください。

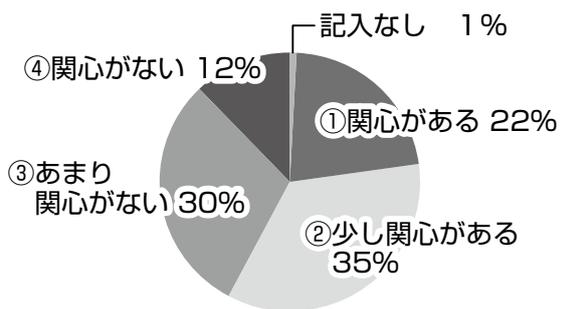
10歳代：2% 20歳代：7% 30歳代：10% 40歳代：11%
50歳代：11% 60歳代：24% 70歳代：20% 80歳以上：15%

問3 どの町にお住まいですか？

吉田町：35% 八千代町：11% 美土里町：9%
高宮町：12% 甲田町：18% 向原町：14% 記入なし：1%

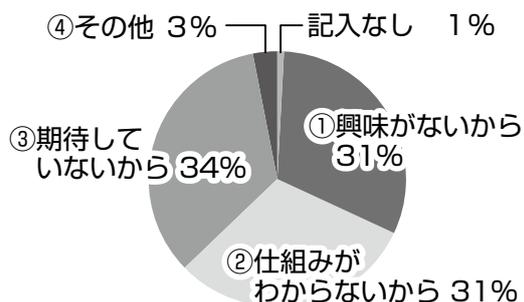
問4 市議会に関心がありますか？

- ① 関心がある 22%
- ② 少し関心がある 35%
- ③ あまり関心がない 30%
- ④ 関心がない 12%
- 記入なし 1%



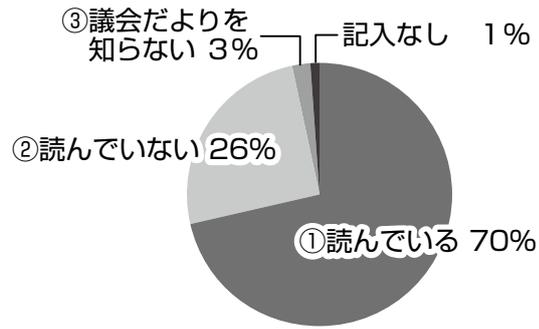
問5 問4で③、④を選ばれた方にその理由をお尋ねします。（複数回答可）

- ① 興味がないから 31%
- ② 仕組みがわからないから 31%
- ③ 期待していないから 34%
- ④ その他 3%
- 記入なし 1%



問6 「議会だより」を読んでいますか？

① 読んでいる	70%
② 読んでいない	26%
③ 議会だよりを知らない	3%
記入なし	1%



問7 市議会の会議などを見た（傍聴した）ことがありますか？（複数回答可）

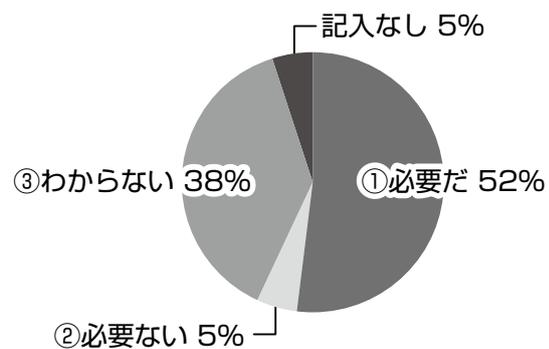
① 議場で傍聴したことがある	9%
② 委員会を傍聴したことがある	3%
③ インターネット中継を見たことがある	8%
④ インターネット中継を見たことも傍聴したこともない	71%
記入なし	9%

問8 「地域懇談会」または「議会報告会」の参加状況は？

① 参加した	13%
② 用事等で参加できなかった	22%
③ 興味がないので参加しなかった	22%
④ 開催を知らなかった	29%
⑤ その他	5%
記入なし	9%

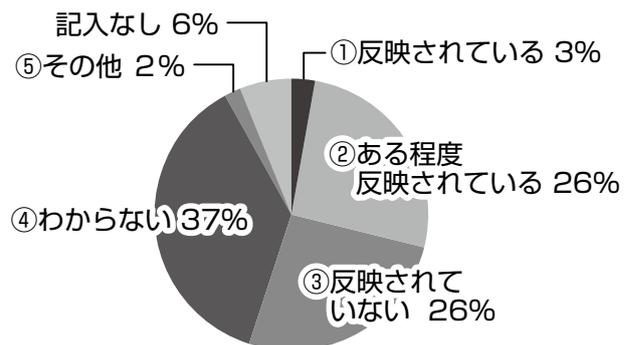
問9 「地域懇談会」または「議会報告会」について、どう思われますか？

① 必要だ	52%
② 必要ない	5%
③ わからない	38%
記入なし	5%



問10 あなたの意見や市民の声が、議会に反映されていると思いますか？

① 反映されている	3%
② ある程度反映されている	26%
③ 反映されていない	26%
④ わからない	37%
⑤ その他	2%
記入なし	6%

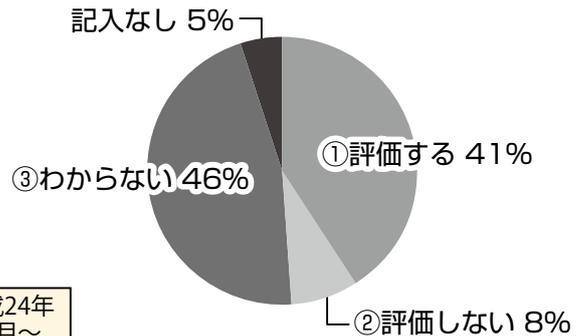


問11 市議会の改革には、何が必要だと思いますか？（複数回答可）

- ① 議会の審査機能の向上、政策提言機能の強化 18%
- ② 休日や夜間など市民の傍聴しやすい議会 1%
- ③ 市民の声を聞くための報告会・懇談会の開催 23%
- ④ インターネットなどの会議中継・録画放送 7%
- ⑤ 市議会ホームページの充実など情報公開 12%
- ⑥ 議員定数・報酬・政務調査費などの検討 25%
- ⑦ その他 6%
- 記入なし 8%

問12 合併以降、次のとおり議員定数を削減したことについて、どう思われますか？

- ① 評価する 41%
- ② 評価しない 8%
- ③ わからない 46%
- 記入なし 5%

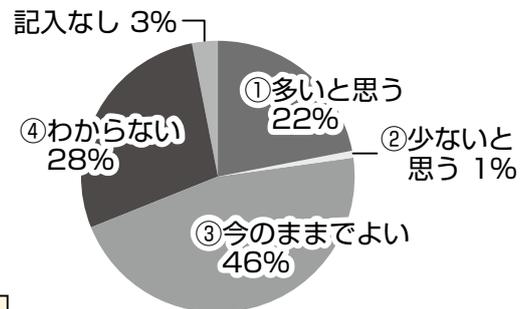


■参考:安芸高田市の議員定数の経緯

年・月	平成16年 3月	平成16年 12月	平成20年 12月	平成24年 12月～
議員定数	73名	22名	20名	18名

問13 現在の議員定数について、どう思いますか？

- ① 多いと思う 22%
- ② 少ないと思う 1%
- ③今のままでよい 46%
- ④ わからない 28%
- 記入なし 3%



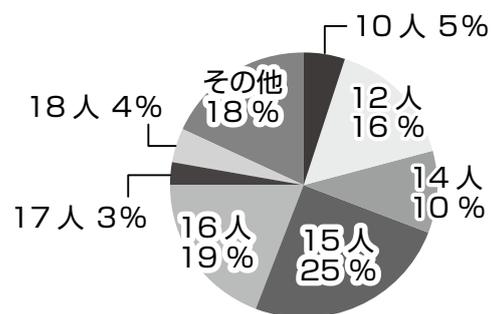
■参考:近隣市の議員定数、定数1人あたりの人口・面積

市名	議員定数 (人)	議員1人あたり	
		人口(人)	面積(km ²)
安芸高田	18	1,607	29.9
三 次	24	2,198	32.4
庄 原	20	1,791	62.4
府 中	20	1,992	9.8
江 田 島	18	1,319	5.6
大 竹	16	1,706	4.9
竹 原	14	1,847	8.5
広 島	54	22,102	16.8

*大竹、竹原市は合併未実施市
*人口:平成30年6月末現在

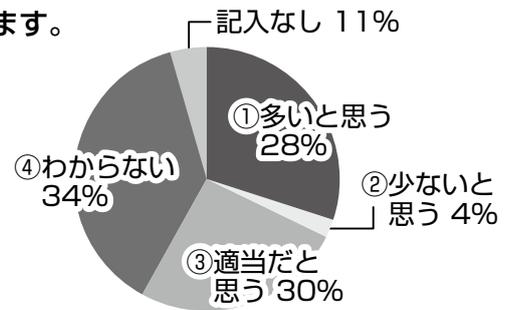
問14 問13で①、②を選ばれた方にお尋ねします。あなたは議員定数について、何人がよいと思いますか？

①多いと思う 108人
②少ないと思う 6人
【計104人 23%】



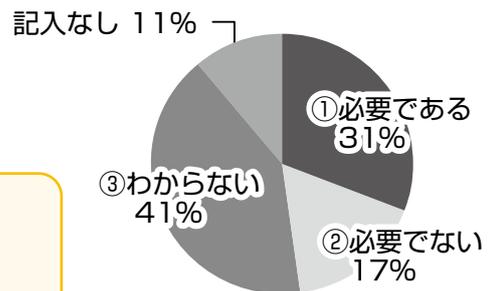
問 15 議員には毎月 32 万 5 千円の報酬が支給されています。これについて、どう思いますか？

- ① 多いと思う 28%
- ② 少ないと思う 4%
- ③ 適当だと思う 30%
- ④ わからない 34%
- 記入なし 4%



問 16 議員の調査研究活動のため、申請した議員に月額 3 万円が交付される政務活動費について、どう思いますか？その理由もお書きください。なお、未使用額は返還することになっています。

- ① 必要である 31%
- ② 必要でない 17%
- ③ わからない 41%
- 記入なし 11%



主な理由

- ・ 政務活動をするには、資金は必要。
- ・ 適切に使用されれば、市政に有益である。
- ・ 必要であるがきちんと活動しているのかチェックしてほしい。
- ・ 報酬の範囲内で活動されたらよい。
- ・ 一度受け取ったお金はなかなか返還できない。

問 17 市議会へのご意見・ご要望等をご自由に記入ください。

主な意見

- ・ 市民の声が届く市政運営となるように、議員活動を活発にしてほしい。
- ・ 行政側と市議が馴れ合い、形だけのものにならぬよう、議会は真剣勝負の場・市民の代表として、意見を投じて頂きたい。
- ・ 行政の監視監督をもう少し強めてほしい。
- ・ 議会の活動が見えずよく分からないので、もっと興味をもてる工夫がほしい。
- ・ 議員定数は、人口規模に応じた定数がよい。
- ・ 合併以降議員定数を減らしているが、機能していると思う。
- ・ 議員は各町に 2～3 人でよいのでは。
- ・ 定数はこのままでよい。不都合があれば考案すればよい。
- ・ 定数を減らしすぎ。町ごとのバランスが悪い。
- ・ 若い世代は議会の会議等に参加しにくいので、若い世代も参加しやすいことをしたらよいのでは。
- ・ 私たちが議員を選んだので、議員の思いをしっかりと前面に出して思う存分行動してほしい。

アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。

なお、主な理由、意見は、紙面の都合上一部の掲載としておりますので、ご了承ください。



議員定数の2名削減を可決

第2回定例会において、令和2年12月からの議員定数を2名削減し16名とする条例案を提出し、全員賛成で可決しました。

議員定数の調査を付託された議会改革特別委員会では、12回の委員会を開催し調査・協議を重ねました。

調査の中では、「市民アンケートの結果（定数は現状でよいの回答46.2%）を尊重すべき」「定数を削減すれば地域の声が行政に届きにくくなる」といった意見も出されましたが、前回、議員定数を削減した平成23年10月から本年6月1日にかけて、人口が約2,800人減少していることや、市の将来の財政状況を考慮し、削減する結論に至りました。

定数が少なくなりますが、議員全員が一致団結して議会活動を行い、皆様に信頼される議会を目指します。

■委員会のおもな調査内容

- 県内の各市議会における人口・面積・議員定数・予算額・議員報酬・政務活動費
- 全国の人口2万5千～3万人の自治体における人口・面積・議員定数
- 安芸高田市における人口・財政推計
- 公職選挙法における議員選挙（選挙区・比例区）
- 市民アンケート
- 議員定数を変更した場合と現状維持の場合のメリット・デメリットの抽出

■おもな調査結果

- 県内では、
 - ・議員1人当たりの人口が2番目に少ない。
 - ・議員1人当たりの面積は3番目に広い。
 - ・市民1人当たりの議会費の割合は3番目に多い。
- 人口2万5千～3万人の自治体における議員定数の平均は16.92名。
- 普通交付税の合併特例加算措置が本年度から終了するなど、今後も厳しい財政運営が予想される。

表彰

全国・中国市議会議長会 議員表彰

○全国市議会議長会表彰

議員20年	:	金行 哲昭			
議員10年	:	先川 和幸	水戸 眞悟		
		大下 正幸	児玉 史則		
		石飛 慶久	前重 昌敬		

先進地視察

しそうし かさいし
宍粟市・加西市（兵庫県） 4月17日

	視察地	視察テーマ	特徴
兵庫県	宍粟市 人口：37,709人 世帯数：14,645世帯 面積：658.54km ² 議員定数：16名 (H31.3.31 現在)	◇議会広報モニター制度について 	◇平成29年からの議会広報モニター制度では、若い世代のモニターの意見を議会だよりに反映。 ◇広報広聴を常任委員会化し、スピード感を持った活発な委員会活動を行なう。
	加西市 人口：44,302人 世帯数：18,056世帯 面積：150.98km ² 議員定数：15名 (H31.3.31 現在)	◇議会だより作成について 	◇議会だより作成は任意の委員会の位置付けではあるが、ベテラン議員を含め、バランスのとれた記事の編集と、簡潔で明瞭な文章となるよう努めている。

まとめ

議会広報モニター制度への取り組みでは、モニターへの応募者不足などの課題はあるが、若い世代が議会への関心を持つことにつながる。また、広報広聴常任委員会の設置や議会だより作成へのベテラン議員の参加などは、議会の広報広聴活動を充実させていくための取り組みである。宍粟市議会、そして加西市議会はそれぞれに議員定数を削減する中、市議会活動を広く市民に周知し、さらに市民の意見を聴取するために、それぞれの議会基本条例に基づいた検証や議会改革を進めて来られている。本市議会においても、平成30年4月1日施行の議会基本条例において、議会の活動原則に「・・・市民に開かれた議会並びに市民参加を推進する議会を目指して活動すること」としており、今後、この条例に基づいた活動の進展に向けた取り組みの参考としたい。

平成30年度 政務活動費収支報告

条例に基づき、議員の調査研究・活動に要するために必要な経費の一部が交付されます。安芸高田市では、議員個人に月額3万円交付されています。

14名に504万円を交付 266万円を支出 238万円を市へ返納

(単位：円)

氏名	交付額	支出額	支出内訳			残余金 (返納額)
			調査研究	研修費	資料購入費	
新田 和明	360,000	63,366	63,366	0	0	296,634
芦田 宏治	360,000	261,103	56,956	156,170	47,977	98,897
玉重 輝吉	申請なし	—	—	—	—	—
玉井 直子	360,000	263,714	42,770	203,520	17,424	96,286
山根 温子	360,000	360,000	42,770	315,106	2,500	0
前重 昌敬	360,000	231,086	59,538	73,600	97,948	128,914
石飛 慶久	申請なし	—	—	—	—	—
児玉 史則	申請なし	—	—	—	—	—
大下 正幸	360,000	39,876	0	0	39,876	320,124
山本 優	360,000	162,500	49,180	65,320	48,000	197,500
熊高 昌三	360,000	278,209	0	79,005	199,204	81,791
穴戸 邦夫	申請なし	—	—	—	—	—
秋田 雅朝	360,000	228,268	49,180	147,612	31,476	131,732
塚本 近	360,000	105,196	0	65,320	39,876	254,804
金行 哲昭	360,000	243,470	42,770	160,200	40,500	116,530
青原 敏治	360,000	190,612	0	149,260	41,352	169,388
水戸 眞悟	360,000	87,386	55,910	0	31,476	272,614
先川 和幸	360,000	142,933	42,770	68,687	31,476	217,067
合計	5,040,000	2,657,719	505,210	1,483,800	669,085	2,382,281

※政務活動費を使用した活動による支出額が交付額（年間36万円）を超えている場合は、交付額を記載しています。（超えた部分は自己負担です。）

※すべての支出について、領収書等で確認をしています。

※ [市ホームページ](#) → [安芸高田市議会](#) のページにも掲載しています。

議会のうごき 4月～6月の議会の主な活動状況

4月

- 1日 議会運営委員会
- 10日 議会広報特別委員会
- 15日 議会運営委員会
- 17日 議会広報特別委員会
先進地視察研修
- 19日 全員協議会
議会改革特別委員会
- 23日 議会広報特別委員会
- 26日 田んぼアート事業調査
特別委員会

5月

- 10日 議会改革特別委員会
- 14日 議会運営委員会
- 17日 総務企画常任委員会
- 20日 全員協議会
道の駅整備調査特別
委員会
- 21日 文教厚生常任委員会
- 23日 産業建設常任委員会
- 28日 議会改革特別委員会

6月

- 7日 議会運営委員会
- 14日 第2回定例会（開会）
議会広報特別委員会
- 17日 予算決算常任委員会
- 19日 全員協議会
田んぼアート事業調査
特別委員会
道の駅整備調査特別
委員会
- 20日 本会議（一般質問）
- 21日 本会議（一般質問）
- 25日 総務企画常任委員会
- 26日 文教厚生常任委員会
高校生との意見交換会
（向原高校）
- 27日 産業建設常任委員会

■令和元年第3回定例会は9月上旬から開会を予定しています

※詳細は、お太助フォンや市のホームページでお知らせいたします。

傍聴記

甲田町

垣内洋了さん

久しぶりに議会傍聴をしてみようと思ったのは、今年が令和元年にあたり、新しい時代に安芸高田市の向かう方向や、平成から未解決の課題に行政、議会がどのように対応しているのか、どれだけ具体策が出ているのかを確認してみたいと思ったからです。

傍聴で感じたことは、各議員の方々がよく調査され、誠に真剣な質問が実施されており、市長の答弁も確かでした。市民一人一人では市の活性化につながると思うので、議会・住民・行政が力を合わせて互いを理解し、新しい時代に向かう必要性を感じています。



地域のかがやき

吉田 安芸高田大橋 命名式



吉田町常友地区 (7月8日)

八千代 楽しいな～



刈田保育園運動会 (6月1日)

美土里 第13回たんぽぽ祭り よさこいソーラン



美土里小学校3・4年生 (6月30日)

高宮 川根地域自然環境教室の一環で、 灯籠作り教室での表彰。



高宮町川根 (6月15日)

甲田 大土山田楽 大花田植



小原地域 (6月2日)

向原 おもてなしに全力投球



向原花しょうぶまつり (6月8・9日)

編集後記

2019年5月1日に元号が「平成」から「令和」に改元されました。

この元号には人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められているそうです。

新しい時代を迎えたこの機会に、私たちの町の歴史や文化をもう一度見直し、将来に生かし、後世に引き継いでいくことが、私たちに与えられた大きな役割ではないでしょうか。

令和元年最初の議会広報も、広報委員みんなが心を一つにし、力を合わせて市政や議会活動を、分かりやすくお伝えしていきたいと思っています。

(菅田 宏治)

〈発行責任者〉

議長 長 先川 和幸

〈議会広報特別委員会〉

委員長 山根 温子

副委員長 玉井 直子

委員 新田 和明

菅田 宏治

玉重 輝吉

山本 優



あきたかた
議会だより

人がつながる田園都市

第62号 2019(令和元)年8月15日発行

発行者 安芸高田市議会
編集 安芸高田市議会広報特別委員会

〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791番地

TEL (0826) 42-5621 FAX(0826) 47-0250 <https://www.akitakata.jp/>